

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	アセスメントや日々の支援にて得られた情報を元に、本人・家族・関係者ととも施設で一緒に出来る事を相談しながら、今より更に本人中心のケアプランになる事を期待したい。	利用者の日々の状態観察を行い、ご家族等と連携し本人中心のケアが出来るよう支援する。	変化があった時はその都度職員家族と相談し、数日間の様子観察を記録シートにまとめ行動を把握し、ケアプランに反映できる内容をまとめ情報共有する。	12ヶ月
2	3	書面介護でも対面での会議開催であっても、事業所の課題や悩みなどについて積極的に投げかけて、意見交換ができる場となるよう期待したい。	開催案内・議事録を前もって配布し、開催時に意見・悩み等情報交換ができる様にする。	事前アンケートやイベント開催等をお知らせし、議事録の見直しを行っていく。多くの方に参加して頂けるようにZOOMの活用を検討していく。	12ヶ月
3	35	地域住民や運営推進会議メンバーの参加が出来る実施方法や日時調整、また大雪など災害パターンを増やして訓練を行う等、もしもの災害に備えて、更に備えられるよう期待したい。	地域の方々にグループホームの入居者・職員の業務配置について理解して頂く。	運営推進会議を通じ区長、地区委員、民生委員、消防団の方へ公園前災害時対応や、避難までのルートを事前に案内し協力を得られる様に声掛けをしていく。入居者はどの位のレベル(ADL)なのか会議の中で知らせていく。災害訓練等年間スケジュールに取り入れる。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。